工程’s 6　リリースノート

株式会社ウェッブアイ

2014 年 1 月

目次

はじめに 1
1. 動作環境 2
2. 主な追加/改善機能 2
2.1 メニュー 2
(1) 右クリックメニューのグルーピング、並びの変更 2
(2) バーの右クリックメニューの追加 3
2.2 期間の長い工程表編集の効率化 5
(1) Ctrl キー＋マウスホイールで 1 画面の表示期間を伸縮する 5
(2) [今日へ]移動する 5
(3) スクロールバー、全体マップ移動時にバーチャートエリアを連動表示する 6
(4) 基点の日、月を指定して、1 ヶ月、1 年等を表示する 6
2.3 バーの選択 7
(1) 選択したグループの先頭バー、最終バーへ移動する 7
(2) コンストレイントで関連付けされているバーの一斉選択 8
(3) [バーの検索]の検索条件追加 9
2.4 グループ、バーのコピー 10
(1) コピー 10
(2) 貼り付け 10
2.5 進捗の入力と塗りつぶし 11
(1) 進捗入力方法に「残り期間」を追加 11
(2) 進捗塗りつぶし 11
2.6 資源の設定と調整 12
(1) 必要資源に「投入タイミングの設定」を追加 12
(2) 資源の割り込み移動機能 13
2.7 グループ単位での他ビューのグループ設定 14
2.8 その他の機能 15
(1) 選択したグループに限定した「展開」、「折りたたみ」 15
(2) 作業バーのない行を削除 15
(3) 背景カレンダーに休日が表示されないときは、休日の点線表示もしない 16
(4) 休日を点線表示しているときは、進捗バーも必ず休日点線表示にする 16
(5) カレンダの最小単位が 半日（720 分）のときに半日の点線を表示する 16
(6) 移動先指定ダイアログでの後続バーの移動 17
(7) ビューごとに「グループバーを自動更新する」を設定 18
2.9 WBS エディタ 19
(1) 資源量入力 19
(2) 残り期間での進捗入力 19
2.10 ツールメニューからのアプリケーションの起動 20
3. 工程's5.3 とのファイルの互換性について 20
4. 工程's5.3 以前のバージョンについて 20

はじめに

工程’s 新バージョン「工程’s6」の追加/改善機能について、ご紹介します。

1. 動作環境

Windows 7 (SP1) 32 ビットおよび 64 ビット日本語版に対応しています。

※ Tablet PC には対応していません。

2. 主な追加/改善機能

2.1 メニュー

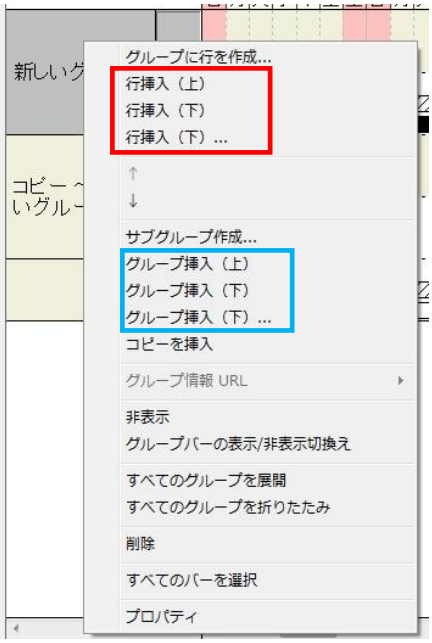
(1) 右クリックメニューのグルーピング、並びの変更

バーやグループを右クリックした際に表示されるメニュー内容をグルーピングしました。また、メニューの並び順も変更し、これまでのバージョンより使いやすくなりました。

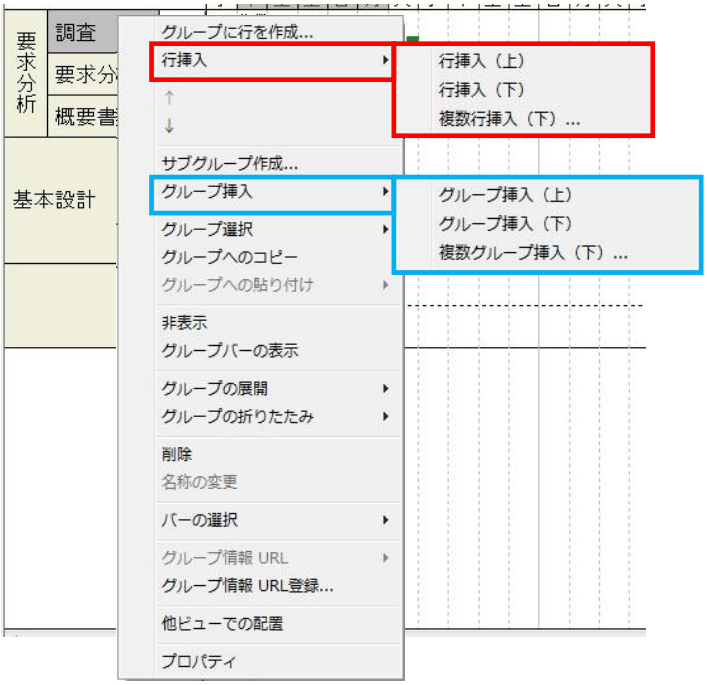
グループの右クリックメニューは、ツリービューとグループ名称エリアで同じになりました。

（グルーピング例）

旧バージョン



新バージョン（工程' s6）



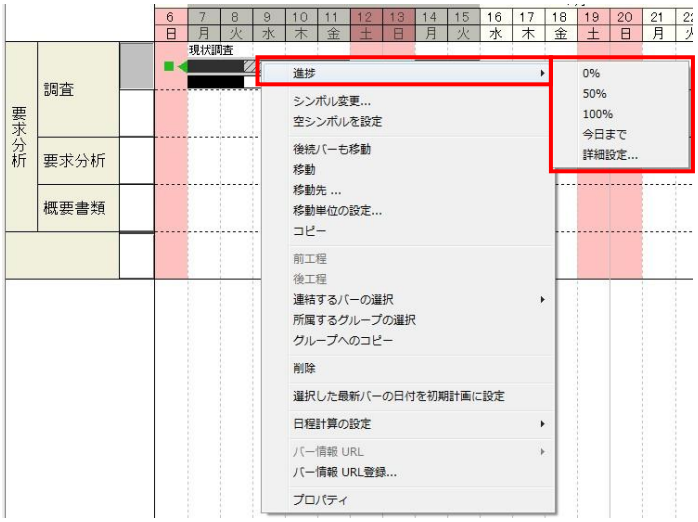
(2) バーの右クリックメニューの追加

①進捗入力

作業バーの右クリックメニュー[進捗]から選択して進捗度を入力できます。

メニューから直接設定できる進捗度は「0%」、「50%」、「100%」、「今日まで」の 4 つです。

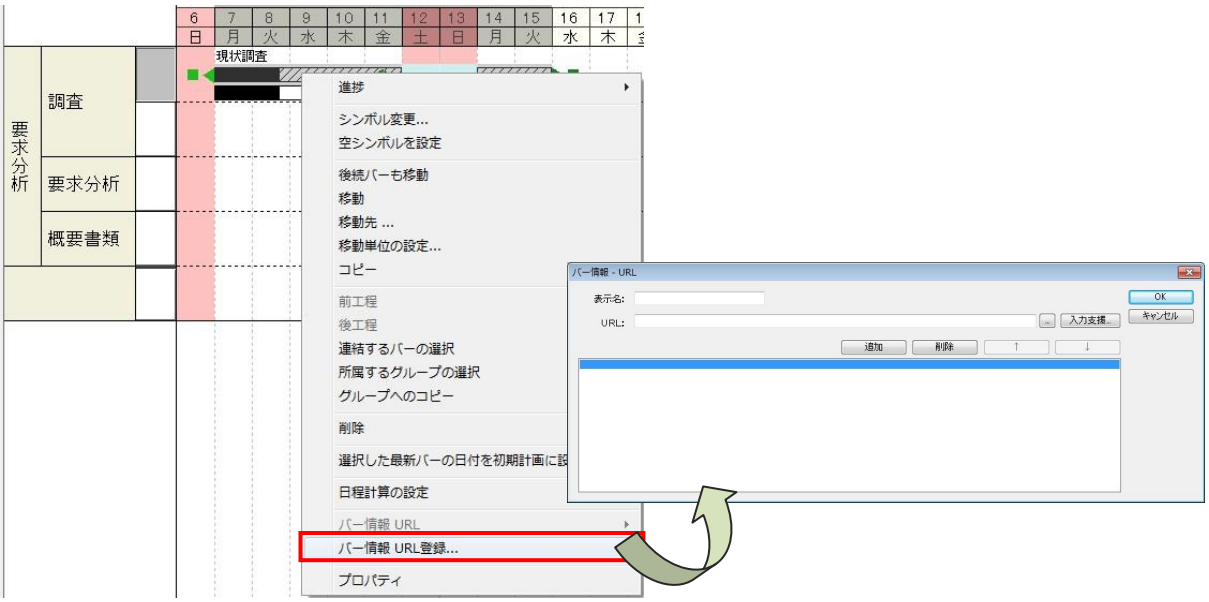
メニューの[進捗]にマウスを移動させると、進捗メニューが表示されます。クリックして選択してください。



- 従来通り、詳細な%単位、日付指定で進捗入力したいときは、メニューの中の[詳細設定...]を選択して、表示された進捗設定ダイアログから進捗入力してください。
- 「今日まで」を指定した場合は、進捗度ダイアログの日付指定で、今日の 24:00 を指定した場合と同じです。
- 複数のバーを選択して一括設定もできます。
- 進捗は、バージョン 5.3 までと同じように、[バー情報]ダイアログでも入力可能です。

②URL リンク登録

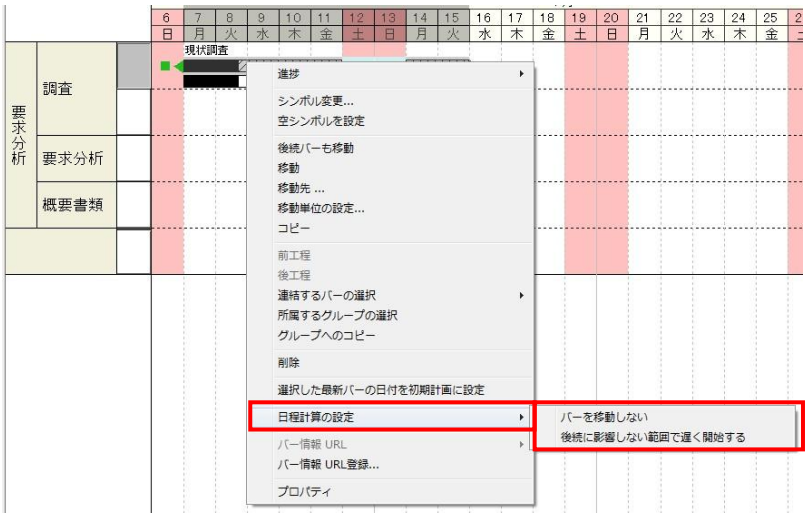
作業バーの右クリックメニューで[バー情報 URL 登録...]をクリックすると、[バー情報-URL]ダイアログを直接開いて URL リンク先を登録することができます。



- バージョン 5.3 までと同じように、[バー情報]ダイアログ＞[URL]＞[登録]でも登録可能です。
- 登録した URL は従来通り、右クリックメニュー[バー情報 URL]で参照する情報の名称を選択してリンクを開くことができます。

③日程計算の設定

作業バーの右クリックメニュー[日程計算の設定]-[バーを移動しない]、[後続に影響しない範囲で遅く開始する]を選択できます。



- [バーを移動しない]または[後続に影響しない範囲で遅く開始する]の設定をした場合、右クリックメニューで現在の状態をチェックマークで表示します。
- 複数のバーを選択して一括設定もできます。

バージョン 5.3 までと同じように、[バー情報]-[日程計算の設定]でも、[バーを移動しない]または[後続に影響しない範囲で遅く開始する]を設定可能です。

2.2 期間の長い工程表編集の効率化

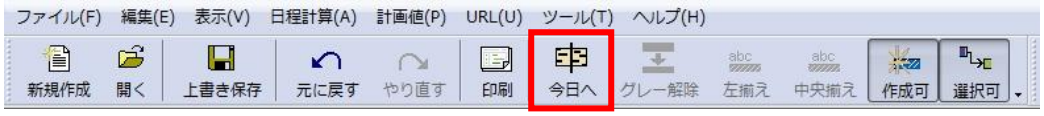
(1) Ctrl キー＋マウスホイールで１画面の表示期間を伸縮する

Ctrl キーを押下しながらマウスホイールを回転させると表示期間を伸縮させることができます。
手前に回せば表示期間が長くなり（縮小）、向うに回せば表示期間が短くなります（拡大）。

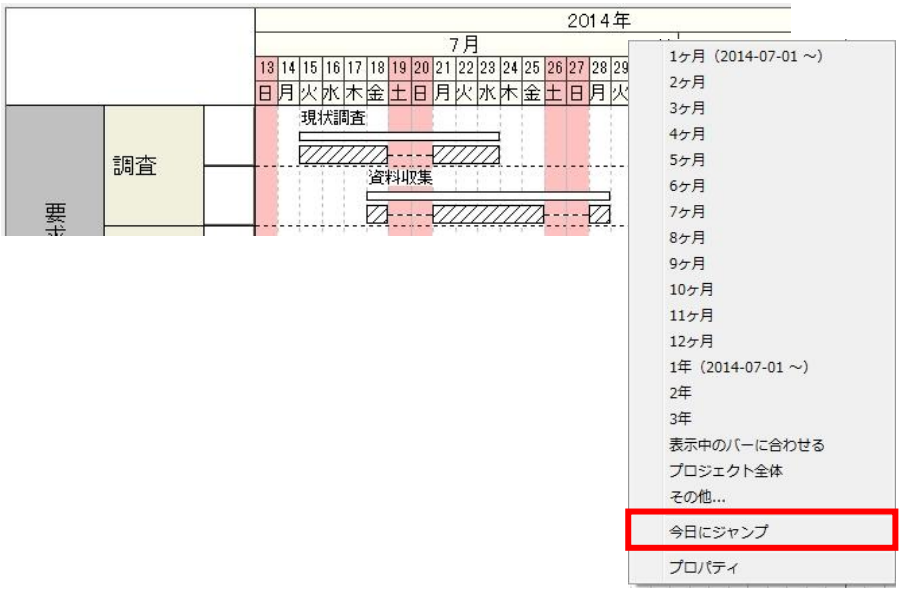
- 画面に表示している期間の中央を起点にして伸縮します。

(2) [今日へ]移動する

ツールバーの[今日へ]のアイコンをクリックして、システム日付の「今日」へ移動します。



- カレンダーエリアの右クリックメニューにも[今日にジャンプ]のメニューが追加されました。こちらも「今日へ」アイコンと同じように、クリックするとシステム日付の「今日」へ移動します。



(3) スクロールバー、全体マップ移動時にバーチャートエリアを連動表示する

以前までのバージョンでは、スクロールまたは全体マップを移動した時には、スクロール中にバーチャートエリアが連動して移動しませんでした。これを改善し、スクロール中にバーチャートエリアが連動して移動するようにしました。

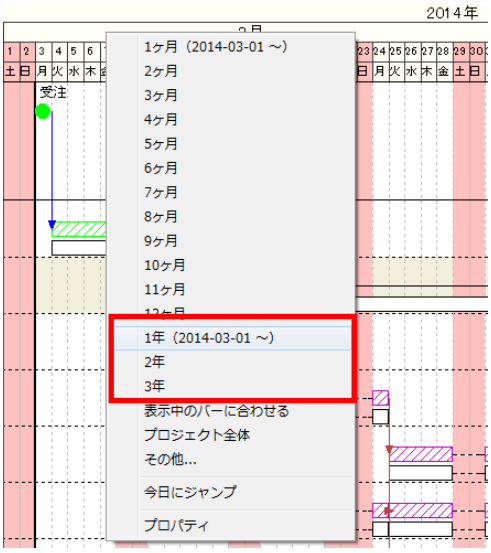
これにより、表示したい箇所へより簡単にスクロールできるようになりました。

- なお、PC によっては、スクロール時に画面がちらつくことがあります。
  画面がちらつく場合は、[編集]メニュー ＞[環境設定]＞[出力]＞[画面]＞ [スクロール時の画面描画方式]にて、「スクロール連動」を「固定」に変更すると、バージョン 5.3 までのように、スクロール中にバーチャートエリアが連動して移動しません。

(4) 基点の日、月を指定して、1 ヶ月、1 年等を表示する

カレンダーエリアの右クリックメニューの表示期間指定に、右クリックした日からの 1～3 ヶ月表示、右クリックした月からの 1～3 年表示が追加されました。

これにより、プロジェクトの期間に合わせた期間表示がより簡単にできるようになりました。

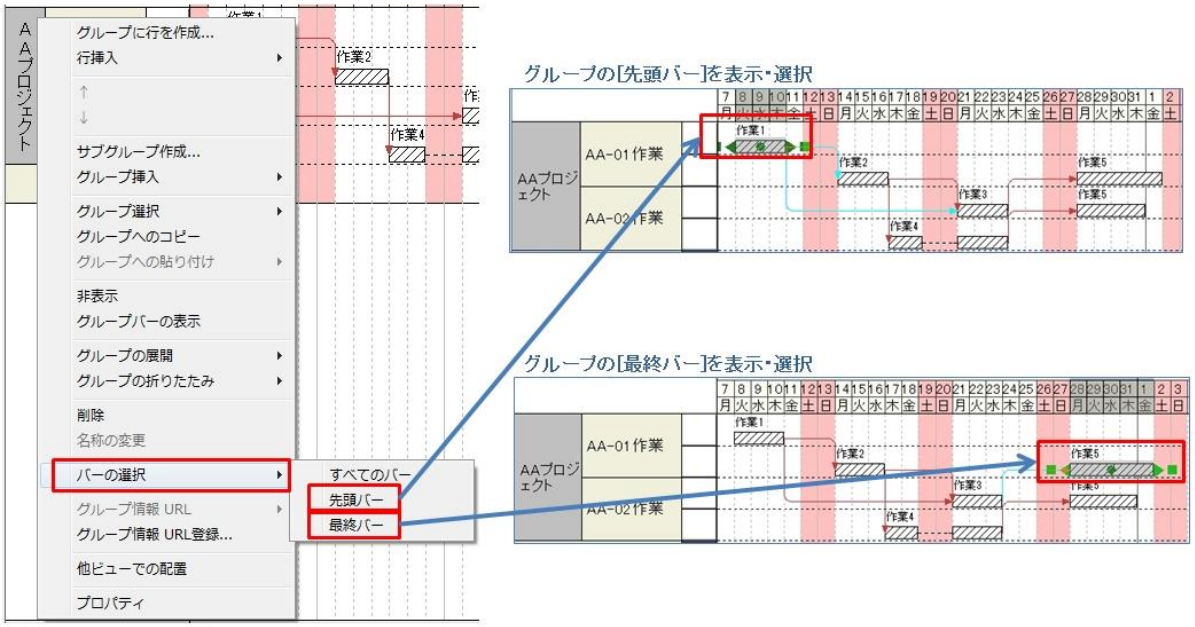


2.3 バーの選択

(1) 選択したグループの先頭バー、最終バーへ移動する

グループの右クリックメニューで「先頭バー」を選択すると、グループの先頭のバー（開始日が一番早いバー）までスクロールし、先頭バーが選択状態になります。

「最終バー」を選択すると、最後のバー（終了日が一番遅いバー）までスクロールし、最終バーが選択した状態になります。

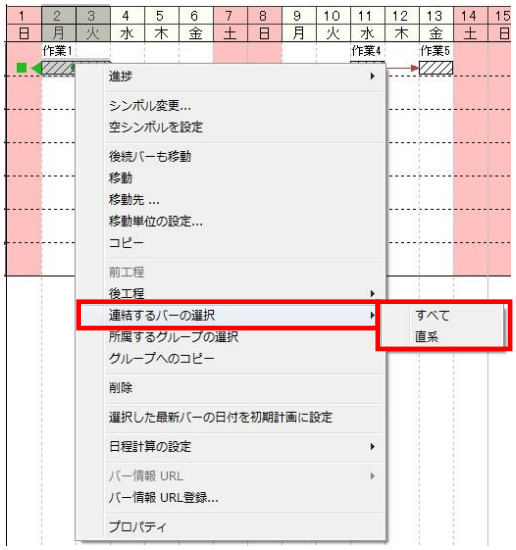


- 先頭バーまたは最終バーが複数存在する場合は、すべてが選択状態となりますが、一番上の行のバーが主選択状態になります。
- 非表示のサブグループは検索対象外です。
- 折りたたまれているサブグループについては検索対象です。展開して、先頭バー、最終バーを表示します。

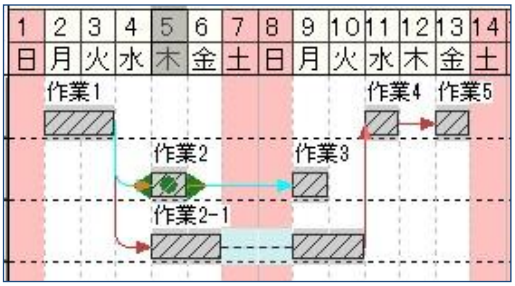
(2) コンストレイントで関連付けされているバーの一斉選択

作業バーを選択して、そのバーにコンストレイントで関連づけされているバーを一斉選択できます。作業バーの右クリックメニューで[連結するバーを選択する]の、[すべて]または[直系]をクリックして選択します。

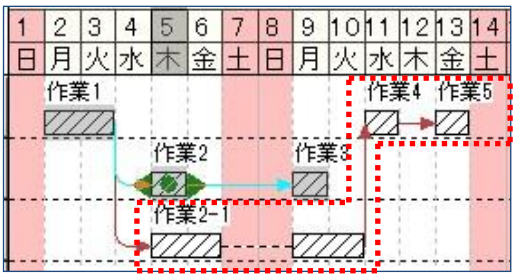
- マイルストーンは選択対象としません。
- 複数バーが選択されている状態では、このメニューは実行できません。



- [関連するバーを選択する]メニューを利用した作業バーの選択例



<例 1>
「作業 2」を選択し、[連結するバーを選択する]から、[すべて]を選択
→コンストレイントで接続された全てのバーが選択状態になる。



<例 2>
「作業 2」を選択し、[連結するバーを選択する]から、[直系]を選択
→選択バーと直接コンストレイントで接続された直系のバーが選択状態になる。
並行する「作業 2-1、4、5」は直接コンストレイントで接続していないので選択されない。

(3) [バーの検索]の検索条件追加

バーの検索に、次の検索条件が追加されました。

バーの検索は、[編集]-[バーの検索]で実行します。

① 初期計画が設定されていない

初期計画が設定されていないバーを検索できるようになりました。

例えば､｢初期計画と最新計画が異なる｣と[初期計画が設定されていない]にチェックすると、初期計画と最新計画が異なるバーに加え、初期計画が未設定のバーも抽出できます。

②URL 表示名

グループやバーに登録された URL 表示名から検索できるようになりました。

③トータルフロート

指定した日数のトータルフロートから検索できるようになりました。

※ バーの検索後、[Ctrl]キーと[a]キーを同時に押下すると、検索したすべてのバーが選択されます。

2.4 グループ、バーのコピー

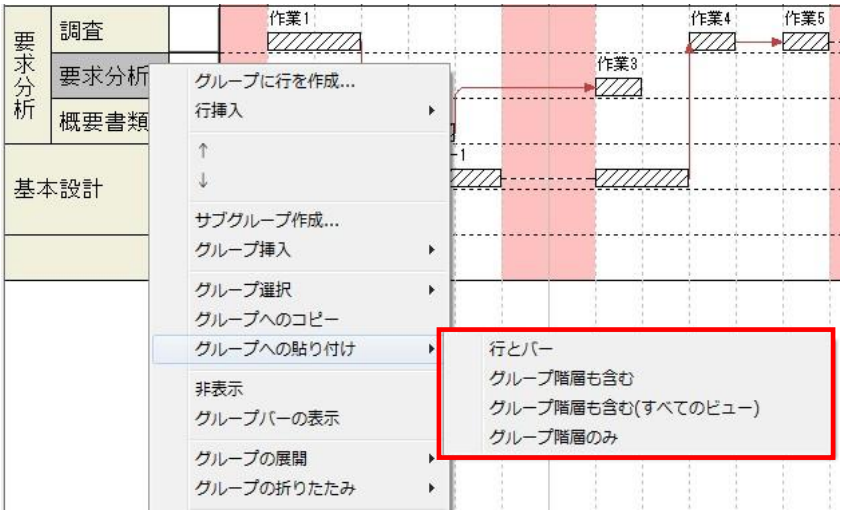
(1) コピー

選択したバーまたはグループを、そのグループ階層も含め、コピーすることができます。

コピーするバーまたはグループを選択して右クリックメニューで[グループへのコピー]を選択します。

(2) 貼り付け

貼り付け先のグループを選択し、右クリックメニューで[グループへの貼り付け]-[行とバー]または[グループ階層も含む]または[グループ階層も含む（すべてのビュー）] または[グループ階層のみ]からメニューを選択して貼り付けます。

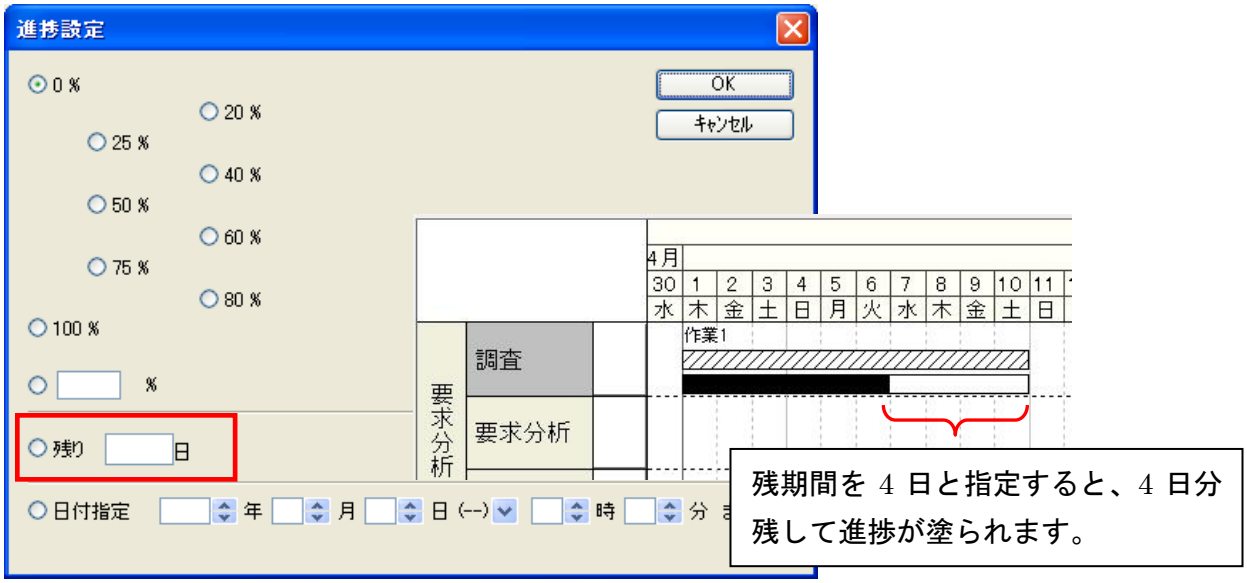


- 貼り付けは、同じ工程's ファイル内でも、他の工程's ファイルへでも、行うことができます。
- コピー元のビューと別のビューに貼り付ける場合、[グループ階層も含む（すべてのビュー）]は実行できません。
- バー選択時に右クリックメニューで[連結するバーを選択する]をクリックしてから[グループへのコピー]と[グループへの貼り付け]を実行すると、前後に関連づけられたバーを一度に貼り付けすることができます。
- コピー、および貼り付けはツリービューからも行うことができます。

2.5 進捗の入力と塗りつぶし

(1) 進捗入力方法に「残り期間」を追加

バーの右クリックメニューで、[進捗] > [詳細設定]を選択する進捗設定画面または、バー情報画面で設定できる進捗に、残り期間が追加されました。



(2) 進捗塗りつぶし

進捗塗りつぶしを、残り期間、日付指定で入力した値から行うようになりました。

これまで、長期間のバーの進捗塗りつぶしが指定した日付と異なることがありましたが、残り期間、日付指定で入力した日までの塗りつぶしができるようになりました。

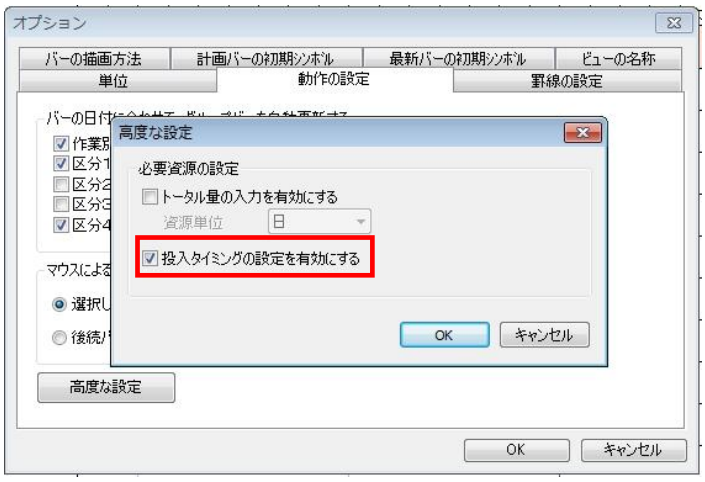
- %単位で進捗を入力した場合、残り期間、日付指定で設定していた値はクリアされます。
- 残り期間で進捗を入力した場合、日付指定で設定していた値はクリアされます。
- 日付指定で進捗を入力した場合、残り期間で設定していた値はクリアされます。
- 残り期間、日付指定により進捗を入力した場合も、%単位に変換された値が設定されますが、%は整数値のため、[最新バーの進捗部分を塗りつぶす] 設定にしていると、塗りつぶしの状態と進捗（%単位に変換された値）に誤差が生じることがありますのでご注意ください。
- 残り期間、日付指定で進捗入力されたバーを移動した場合は、進捗も相対的に移動した値になります。
- 残り期間、日付指定で進捗入力されたバーを期間変更した場合は、残り期間、日付指定の進捗はクリアされ、%単位の進捗が設定されます。

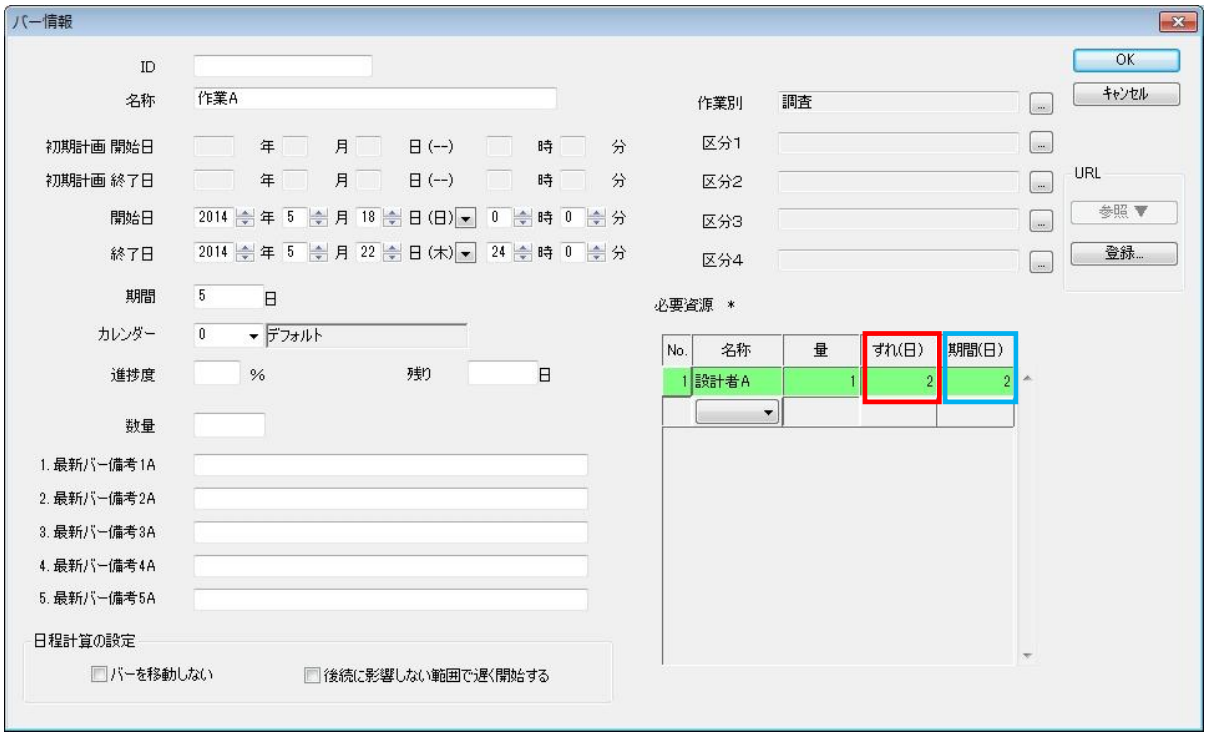
2.6 資源の設定と調整

(1) 必要資源に「投入タイミングの設定」を追加

バーの期間とは異なる、資源の投入タイミングを設定できるようになりました。

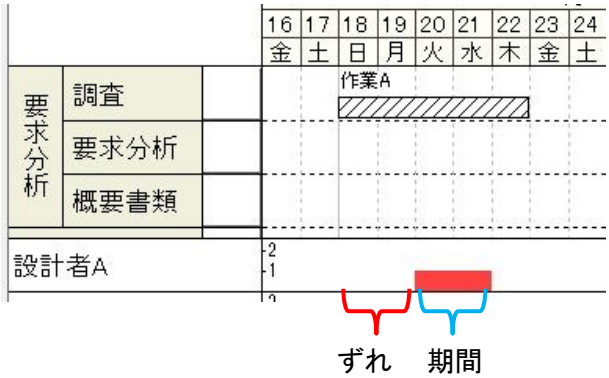
［設定］＞［オプション］＞［動作の設定］より、「高度な設定」にて、「投入タイミングの設定を有効にする」にチェックをすると、バーのプロパティに「ずれ」と「期間」が表示され、設定ができます。





「ずれ」は、資源の投入をスタートするタイミングを、バーの開始日からどれだけずらすかを指定します。（早める場合は、マイナスの数値を入力します。）

「期間」は、資源が投入される期間を指定します。

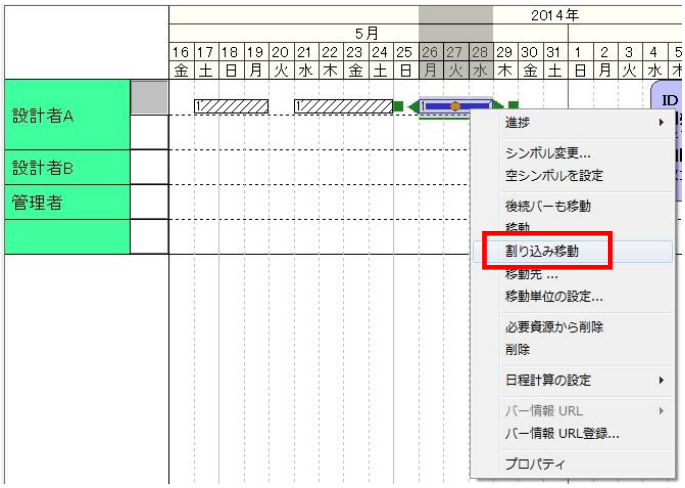


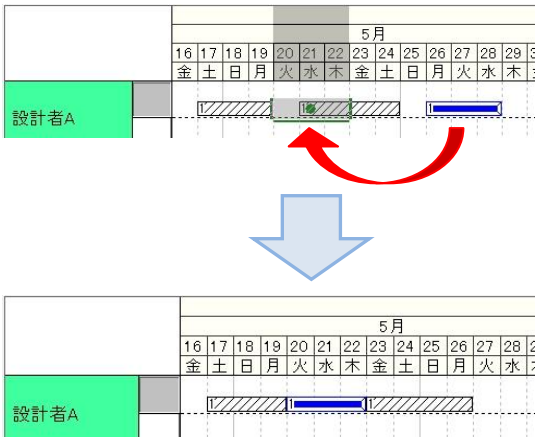
➢ これまで、「高度な設定」ボタンは、[設定] > [オプション] > [単位] にありましたが、[設定] > [オプション] > [動作の設定] に移りました。

(2) 資源の割り込み移動機能

資源ビューにて、バーを右クリックし[割り込み移動]を選択すると、他の作業バーの間に割り込ませる形で対象のバーを移動することができます。

同じ行の割り込み先より未来にあり、割り込み移動により他のバーと重なるバーは、重ならないよう、未来に移動します。

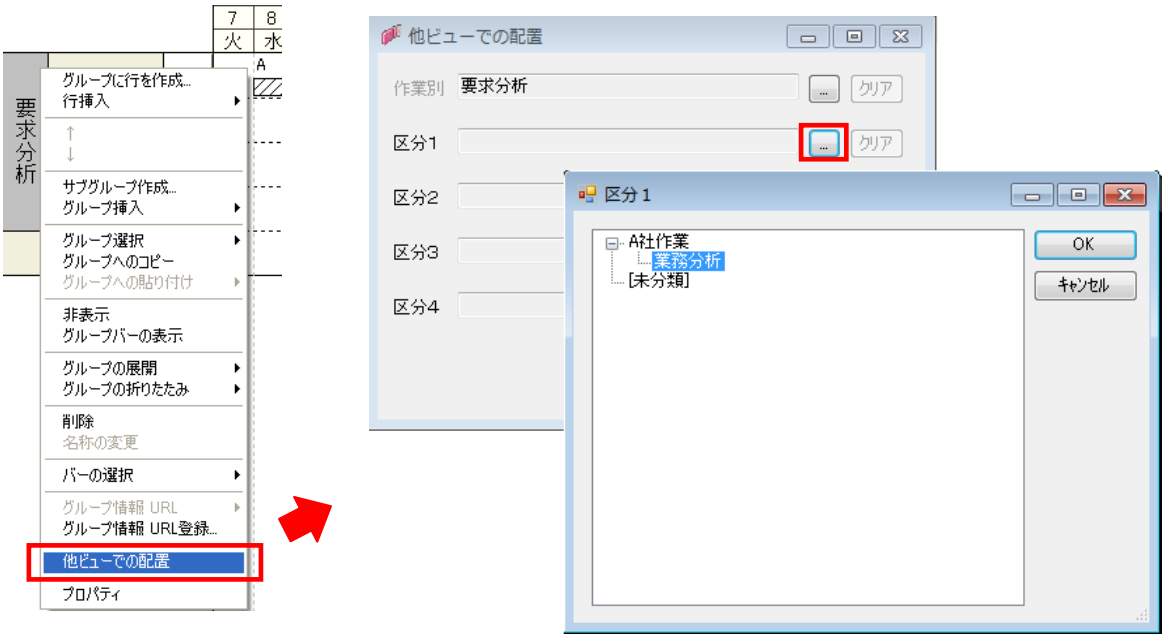




2.7 グループ単位での他ビューのグループ設定

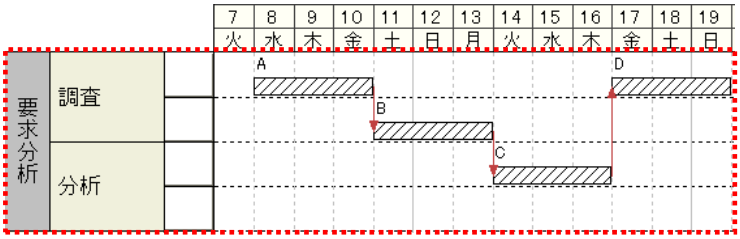
あるビューのグループ内の作業バーの配置を、行の配置ごと、他ビューのグループに設定することができるようになりました。

他ビューに設定するグループを右クリックし、[他ビューでの配置]を選択します。[他ビューでの配置]画面で、設定するビューの[・・・]をクリックし、設定先のグループを選択します。

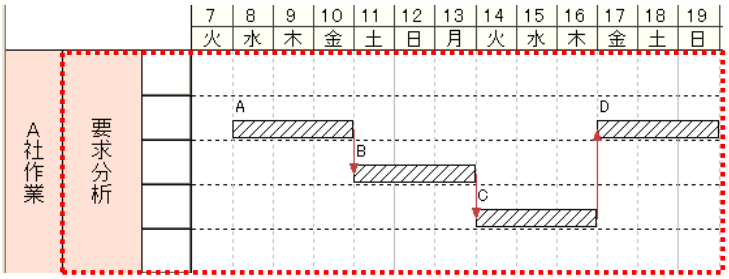


➢ 例えば、作業別ビューの「要求分析」グループにある作業バー「A」「B」「C」「D」が、区分 1 ビューの「要求分析」グループに行の配置ごと設定されます。

作業別ビュー



区分 1 ビュー



2.8 その他の機能

(1) 選択したグループに限定した「展開」、「折りたたみ」

選択したグループのサブグループだけを「展開」、「折りたたみ」できるようになりました。

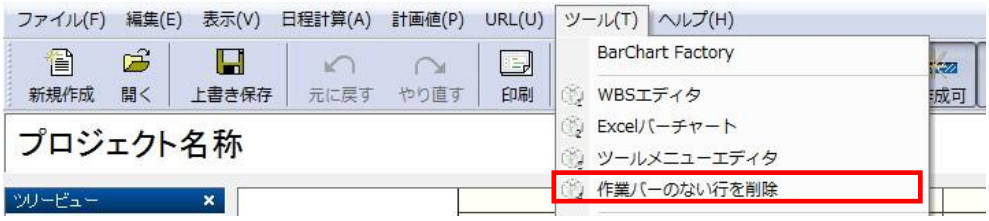
グループの右クリックメニューで、[グループの展開]または[グループの折りたたみ]から、[サブグループ]を選択します。

➢ ツリービュー、グループ名称エリアのどちらのメニューからでも選択できます。

(2) 作業バーのない行を削除

作業バーのない行を自動的に削除することができるようになりました。

工程's の[ツール] > [作業バーのない行を削除] を選択し実行すると、選択しているビューの作業バーのない行が削除されます。

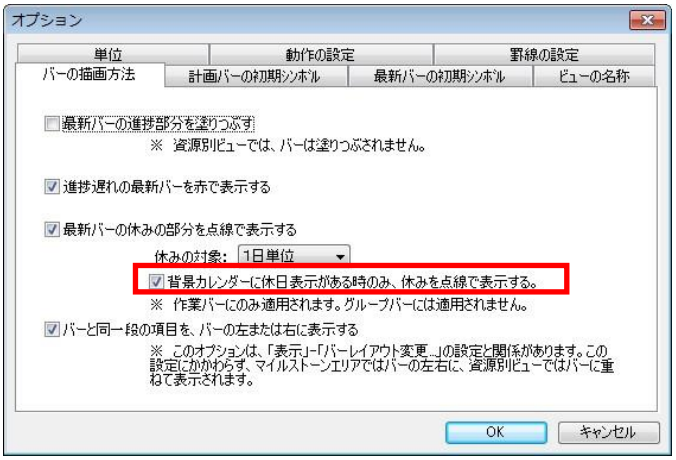


➢ マイルストーンの行は、削除されません。

(3) 背景カレンダーに休日が表示されないときは、休日の点線表示もしない

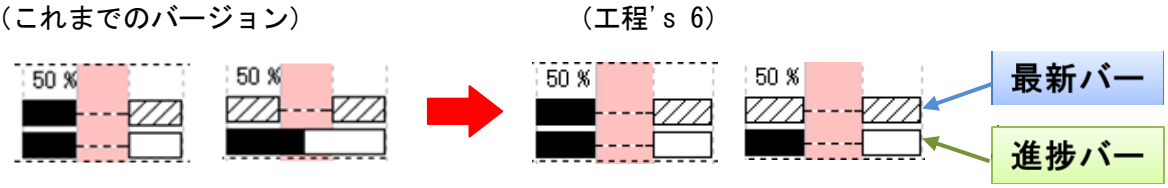
1画面に1年など長期間を表示し、背景カレンダーが日単位に表示されない時は、作業バーの休日点線表示をしない設定をすることができます。

[編集]-[オプション]-[バーの描画メニュー]で、「背景カレンダーに休日表示がある時のみ、休みを点線で表示する。」にチェックします。



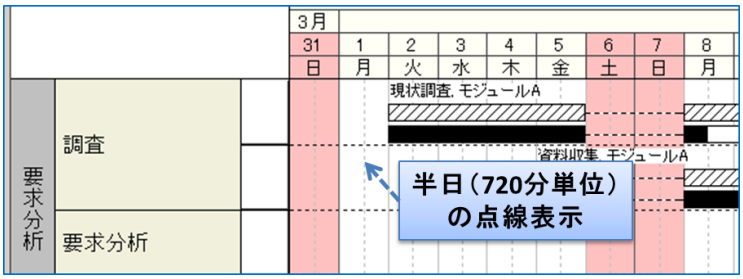
(4) 休日を点線表示しているときは、進捗バーも必ず休日点線表示にする

これまでのバージョンでは、「最新バーの進捗を塗りつぶす」の有無で進捗バーの表示が変わりましたが、休日を点線表示しているときは、最新バーを進捗で塗りつぶさない場合でも、進捗バーの休日を点線で表示されるようになりました。



(5) カレンダの最小単位が 半日（720 分）のときに半日の点線を表示する

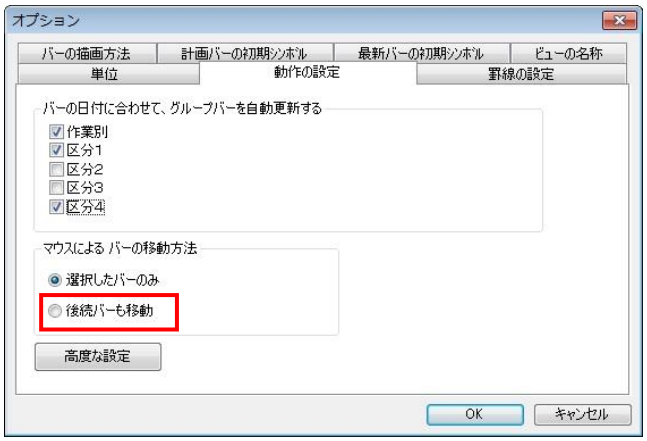
カレンダーの 720 分単位の時に一日を２分割する線を表示されるようになりました。



(6) 移動先指定ダイアログでの後続バーの移動

移動先（バーの右クリックメニューの[移動先…]）でバーを移動する時にも、マウスによるバーの移動方法（ツールバーまたは[オプション]-[動作の設定]）が有効になりました。

マウスによるバーの移動方法に「後続バーも移動」を選択した場合、移動先ダイアログを使用してバーを移動した時に、コンストレイントで結ばれた後続バーも移動します。

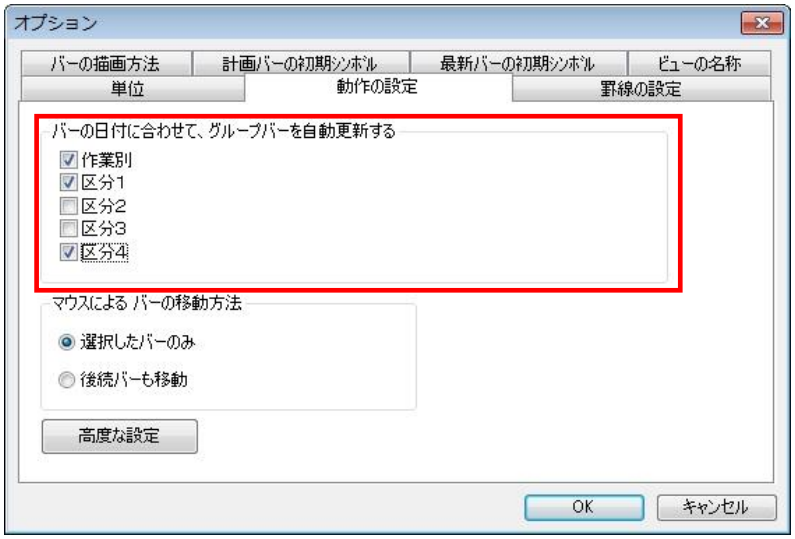


- 「後続バーも移動」は、次のバーの開始に繋がっていると（FS、SS）後続も移動しますが、終了に繋がっていると（SF、FF）後続は移動しません。
- 「開始日時を指定」、「終了日時を指定」を選択時している時は、バーの開始、終了時刻をデフォルトで表示します。

(7) ビューごとに「グループバーを自動更新する」を設定

作業バーの日付に合わせてグループバーを自動更新することができますが、これをビューごとに設定できるようになりました。

設定は、[設定] > [オプション] > [動作の設定]より、「バーの日付にあわせて、グループバーを自動更新する」にて行うことができます。



なお、ツールバーの「自動更新」をクリックすることにより、選択しているビューのグループバーの自動更新を切り替えることができます。

2.9 WBS エディタ

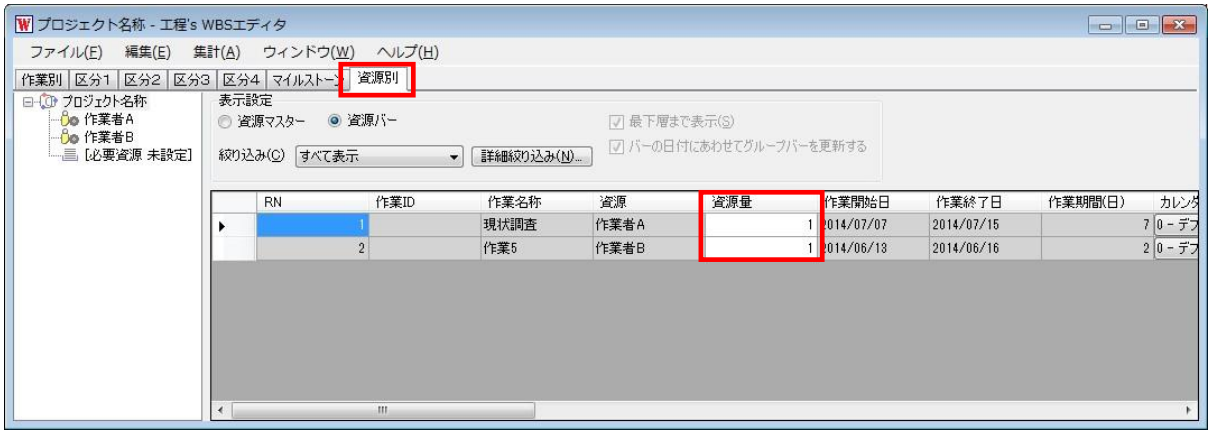
※Light 版ではご利用できません。

(1) 資源量入力

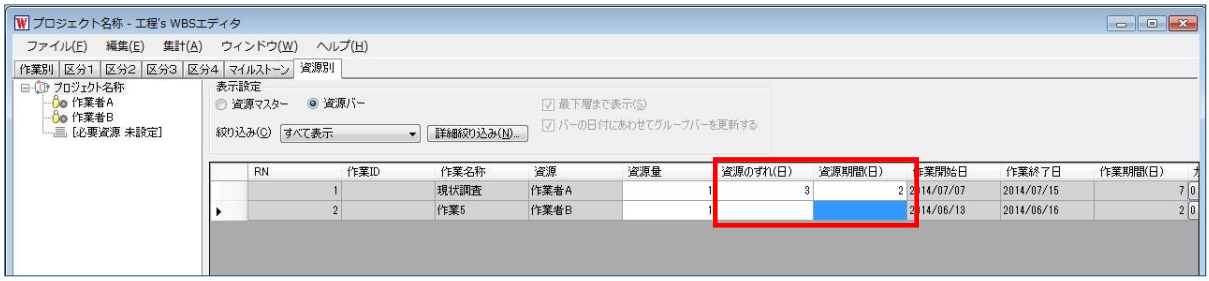
「WBS エディタ」にて、資源量の入力ができるようになりました。

WBS エディタは、工程’s の[ツール] > [WBS エディタ] で起動します。

「資源別」タブを選択すると、登録されている資源が表示され、資源量を編集することができます。



なお、「高度な設定」にて、「投入タイミングの設定を有効にする」を設定した場合、WBS エディタから資源投入の「ずれ」と「期間」を設定できます。



(2) 残り期間での進捗入力

「WBS エディタ」にて、残り期間での進捗入力ができるようになりました。

WBS エディタを起動し、作業バー情報を表示させると、残り期間を編集できます。

2.10 ツールメニューからのアプリケーションの起動

※Light 版ではご利用できません。

工程's を同じ PC で複数起動し、それぞれの工程's でツールメニューからアプリケーションを起動するとデータが壊れる問題を解消しました。

※ これまで、TRANSPORT フォルダは固定で共用されていましたが、TRANSPORT フォルダは固定ではなくなりました。必要に応じ、パラメータで TRANSPORT フォルダを指定してください。

3. 工程's5.3 とのファイルの互換性について

工程’s5.3 で作成した工程's ファイルは、工程's6 で参照、更新できます。

工程's 6 で作成した工程's ファイルは、工程's5.3 で参照、更新できますが、次の制限があります。

- 工程's5.3 では、工程's6 の新機能はご利用いただけません。
- 工程's 6 で新しい機能の設定を行っても、以前のバージョンで保存後に工程's 6 で参照すると、設定がクリアされます。

  （例）

  - 工程's 6 で資源の「投入タイミングの設定を有効にする」を設定（2.6(1)）しても、以前のバージョンで保存後に工程's 6 で参照するとチェックが外れます。（ただし、バーに設定した「ずれ」や「資源期間」は、保持されます。）
  - 工程's 6 で「背景カレンダーに休日が表示されないときは、休日の点線表示もしない」を設定（2.8(3)）しても、以前のバージョンで保存後に工程's 6 で参照するとチェックが外れます。
  - 工程's 6 で特定のビューだけに「グループバーを自動更新する」を設定（2.8(7)）していても、以前のバージョンで参照すると、全てのビューが「グループバーを自動更新する」となります。

4. 工程's5.3 以前のバージョンについて

工程’s6 販売開始と同時に、以前のバージョンの販売は終了しますが、すでにご購入いただいたライセンスに対するプロテクトキーの発行は、継続して行います。

また、保守サポートをご契約いただいているユーザー様のお問い合わせへの対応は、継続して行います。

以上